

ウトナイ湖通信



No.268

2026 年9月号

秋に近づき、マガンやヒシクイが北の国からやって来て、ウトナイ湖で羽を休めます。夏の間は少し静かだった湖も、一気ににぎやかになる季節です。ぜひウトナイ湖へ足を運び、渡り鳥たちの姿をお楽しみください。

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。



9月

イベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

9月13日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員：10 名程度
- 対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- 申込：不要。直接当センターへ



オオハクチョウの渡来日予想クイズ

9月1日(火)~9月30日(水)

例年 10 月にロシアから渡ってくるオオハクチョウ。

今年の渡来日はいつでしょうか？

当センターにある応募用紙に、予想した渡来日を記入し、ボックスへ。

見事当てた方には、抽選で野鳥グッズなどの景品をプレゼント！



10月

イベント情報

ウトナイ湖・秋の渡り鳥 DAY

10月18日(日)9:30~16:30

◇屋内プログラム(講演会)

「市民科学とは？」

みんなで調べる 苫小牧の自然

◇屋外プログラム(調査体験会)

「野鳥調査にチャレンジ！」

●申込：10/1(木)~10/17(土)

※ 詳しくは 10 月号でお知らせ！

パーツを合わせて



ガンカモパズル

野鳥の



重さ体験コーナー

クイズ感覚で楽しむ
体験コーナー(申込不要)も
開催予定！

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市字植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間：午前 9 時~午後 5 時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライングウェイ・パートナーシップ

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



カワセミ

体重 26g



搬入時の様子



身体検査の様子

原因：建物への衝突疑い

8月4日 ウトナイ湖に近い住宅地で、飛べずにいたところを市民が発見し、保護。

同日中に当センターへ搬入。

初診では、明らかな外傷は認められなかったが、頭部を強打したのか、頭部が水平に揺れる神経症状を起こしていたため、一晩安静にし経過観察とした。

8月5日 翌日、容体安定し、小魚の給餌を行う。十分な飛翔力も確認し、リリースに至った。

リリース

カワセミ (ブッポウソウ目 カワセミ科)

体長 17cm。成鳥は雌雄共に上面は光沢のある青緑色で、体上面中央を縦に走るコバルトブルーの帯がよく目立ちます。オスはくちばしの上下とも黒いですが、メスは上くちばしが黒く、下くちばしが赤です。

今回保護されたカワセミはオスの成鳥でした。小魚や水生昆虫などをねらって水中ダイビングをします。

トピックス



ボランティアフォローアップ研修

ウトナイ湖自然虎の巻づくり-第2弾-

ボランティアがお気軽ガイドウォークや調査で活動する際、皆様にウトナイ湖の自然について分かりやすくお届けできるよう、ウトナイ湖で観察できる動植物をまとめた要約集づくりを行ないました。「オジロワシ」や「アオサギ」など、皆で意見を出しあい、要約集を充実させていきました。



ウトナイ湖の夏の生きものの探し

参加者に夏の生きものの図鑑をお渡しし、生きものを探していただきました。湖岸ではカイツブリやエゾシカなどを観察することができ、ほかにも「カワウを見つけられて嬉しかった」といった感想が寄せられました。



ボランティアコーナー

7/25に開催した「夏休み子どもスペシャル～野生動物を守る！
環境省と獣医師のお仕事体験～」にボランティアとして参加された
くまの さんにインタビューしました。

小学生を対象とした
毎年人気のイベントです。
最後には環境省職員から
修了証がもらえます。



「夏休み子どもスペシャル」のボランティアをしようと思った理由はなんですか？

子どもたちの野鳥や自然を大切にする気持ちを少しでもお手伝いでき
ればと思ったからです。

活動してみた感想を教えてください。

小学校低学年の子供たちでも、自分に何ができるか考えながら学んで
いたのが印象的でした。

印象に残ったことや今後の活動への思いがあれば教えてください。

自然案内のボランティアは他の方もやられているので、設備維持や保全
活動を重点的にやっていこうと思っています。



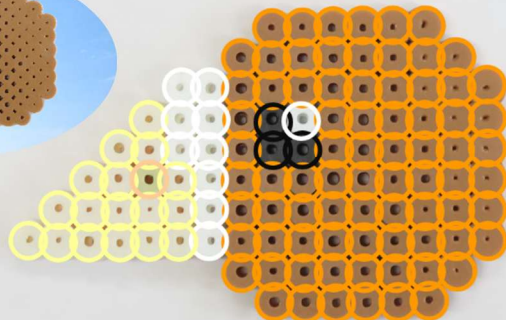
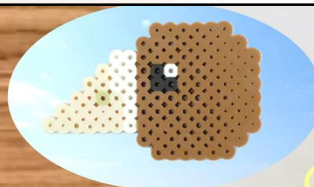
参加者の仕事をサポートする
くまの さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー【ウトナイ湖野鳥グッズを作ろう！】

北の国から渡ってくる
「マガン」
を作ってみよう！



写真と同じところに、アイロンビーズを並べて作りましょう♪
水で接着するアクアビーズでも作れますよ！



デザイン: 当センター獣医師 山田智子

※アイロンビーズは、アイロンの熱で接着するビーズの総称です。
並べて熱を加えることで様々なデザインを楽しめます。

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X





【ヒシクイ】
太い声で「ガハハン、ガハハン」と鳴く。ウトナイ湖近隣の畑で落ち穂などを食べていることもある。



【マガン】
甲高い声で「キャハハ、キャハハ」と鳴く。水の中に顔を入れ採食する姿も見られる。



【ヒシ】
水草で、実には2つの鋭い刺がある。ちぎれた葉や実が湖岸に流れ着くことがある。



【マユミの実】
湖岸観察路沿いにあり、有毒だが野鳥が好んで食べる。熟すと外皮が割れて、赤い種子が出てくる。

レンジャーのおすすめ自然情報

少しずつ気温が下がってくる頃、野鳥たちの大移動が始まります。ウトナイ湖は長い距離を移動する野鳥たちの重要な中継地ともなっており、ハクチョウ類やガン類(ヒシクイやマガン)などの渡り鳥を観察することができます。

観察路では、葉や実が色づき始めてきます。この時期にしか見ることができない、グラデーションカラーを見つけながら、季節が移ろうウトナイ湖をお楽しみください。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

自然観察路ガイドマップ【秋】

